

ビシュケク市内の学校視察

11月23日、前田大使はアフシャン・カーン UNICEF 欧州・中央アジア地域代表とともにビシュケク市内の学校を視察し、避難訓練や UNICEF ボランティアによる防災教育の様子を見学しました。

日本政府は UNICEF を通じ、2017年よりキルギス全土の学校を対象に「学校防災計画」を実施しています。

これにより、防災分野における日本のグッド・プラクティスがキルギスに導入され、全国90万人の児童が防災能力を高めることが期待されます。

